

People Focus Consulting
Communicative Japanese Proficiency Test (CJP Test)

ノン・ネイティブ・スピーカーの社員の日本語能力が、客観的に見てどれくらいのレベルにあるか知りたいと思ったことはありませんか。現在、日本国内では、「日本語能力試験」が有名ですが、これは文法や読解力に重点が置かれていること、もともとが大学を受験する外国人用に開発されたものであるため、ビジネスパーソンが苦手な分野の語彙が多く出題されるなど、ビジネスパーソンのコミュニケーション能力を測りきれない部分がありました。また「ジェトロビジネス日本語能力テスト」は受験者にかなり高い日本語能力と日本でのビジネス経験が要求されるため、一般的なレベルでは受験しても歯が立たず、レベルチェックにはなりにくいことが多いようです。

ピープルフォーカスコンサルティングでは、1998年から、長い教授経験を持つビジネス日本語の講師を中心に、既存のテストなども参考にしながら、Communicative Japanese Proficiency Test(CJP テスト)を研究・開発し、2000年6月より開始しました。

テストの概要は下記の通りです。

1. 目的

CJP テストは、ノン・ネイティブの日本語学習者が、日常及びビジネスにおける様々な状況に応じた日本語を話せるかどうかを測定するために作られました。

2. 特徴

- (1) このテストは、日本語の文法や語彙の知識を測るというより、日本語を使っていかにコミュニケーションが取れるか、という点を重視しています。
- (2) テストは3部構成です。(1)文法力を測るための聴解テスト、語彙力、全体把握力を測るためのニュース聞き取り、2)漢字力を含む読解テスト、3)コミュニケーション力を測るためのインタビューテスト

3. 構成

テストは聴解、読解、インタビューの3部構成になっています。

- (1) 聴解テストはテープを聴いて、内容にあった絵を選ぶ問題です。4択問題で、ひらがなや漢字の知識は必要ありません。ニュースを聞いて内容について答えるテストです。筆記問題もあります。
- (2) 読解テストは文章を読んで、質問に対する正しい答えを選ぶテストです。
- (3) インタビューテストは、インタビュースキルのトレーニングを受けたインストラクターによって、会話とロールプレイが行われます。録音された会話を2名以上のインストラクターが32のポイントについてそれぞれ5段階で評価します。

4. 評価

それぞれのパートについて点数で評価が与られますので、定期的な受験によって自分の上達度を知ることができます。コミュニケーションテストについては、オーラルコミュニケーション能力を 32 の項目で評価し、それぞれの項目についての得点を知ることができます。また、8 段階の総合評価と総評が記載されます。

5. 実施要綱

約 1 時間半かかります。

- (1) 聴解 20 分、 15 分
- (2) 読解 20 分
- (3) インタビュー 30 分

6 . 受験料

弊社日本語レッスン受講者の方は通常レッスン内で行われます。テストのみ受験の方は 8,500 円になります。

7 . 申し込み・問い合わせ

担当講師またはピープルフォーカスコンサルティング（03-5771-7071 または nihongo@peoplefocus.co.jp）にご連絡下さい。